

岐阜市公共下水道事業計画書

公共下水道管理者

岐 阜 市

工事着手の年月日

昭和 9 年 7 月 17 日

工事完成の予定年月日

令和 4 年 3 月 31 日

令和 7 年 3 月 31 日

第1表—1

予 定 処 理 区 域 調 書			
予定処理区域 の面積	6,087ヘクタール	予定処理区域内 の地名	岐阜市 「区域は下水道計画一般図 表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位ヘクタール)	摘 要	
中 部 処 理 区	625		
北 部 処 理 区	1,621		
南 部 処 理 区	2,336		
北西部処理区	1,505		

第1表—2

予 定 排 水 区 域 調 書			
予定排水区域 の面積	4,563 ヘクタール	予定排水区域内 の地名	岐阜市 「区域は下水道計画一般図 表示のとおり」
排水区の名称	面 積 (単位ヘクタール)	摘 要	
中部排水区			
今 泉 排 水 区	307		
法 泉 寺 排 水 区	89		
正 坊 寺 排 水 区	105		
東 栄 排 水 区	53		
清 水 川 排 水 区	71		
北部排水区			
金 華 排 水 区	124		
上 土 居 排 水 区	25		
福 光 西 排 水 区	18		
福光東部分流排水区	11		
福光東部排水区	23		
西 山 排 水 区	49		
則 武 1 号 排 水 区	40		
則 武 排 水 区	109		
正 木 排 水 区	41		
正 木 川 排 水 区	152		
早 田 川 排 水 区	215		
両 満 川 排 水 区	452		
天 神 川 排 水 区	163		
鷺 山 排 水 区	113		
雄 総 中 川 原 排 水 区	70		

排水区の名称	面積 (単位ヘクタール)	摘要
南部排水区		
宇佐川排水区	392	
三里排水区	18	
六条片田町第一排水区	12	
梶川排水区	155	
栄町排水区	34	
南陽町排水区	6	
大平川排水区	257	
茜部本郷排水区	29	
鶉第2排水区	58	
鶉第3排水区	20	
鶉第4排水区	19	
鶉第5排水区	16	
鶉第6排水区	31	
西荘排水区	68	
市橋第1排水区	59	
市橋第2排水区	21	
市橋第3排水区	21	
市橋第4排水区	51	
市橋第5排水区	85	
市橋第6排水区	53	
江崎排水区	40	
大堀川排水区	45	
大管排水区	15	
今嶺排水区	53	
湊排水区	23	
鏡島排水区	27	
論田川排水区	154	
荒田川排水区	160	
新荒田川排水区	392	
境川排水区	19	

第3表

吐口調査							
処理区及び排水区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口 の番号又は 名称	主要な吐口 の位置	計画放流量	放流先の名称	放流先の 水位	摘要
中部処理区	処理施設	処理場 吐口	岐阜市 祈年町4丁目	0.382 m ³ /s 0.364 m ³ /s	一級河川 新荒田川 境川		低水流量 1.90m ³ /s
北部処理区	処理施設	処理場 吐口	〃 西中島6丁目	0.510 m ³ /s 0.500 m ³ /s	一級河川 伊自良川		低水流量 5.50m ³ /s
南部処理区	処理施設	処理場 吐口	〃 南鶉6丁目	0.829 m ³ /s 0.834 m ³ /s	一級河川 境川		低水流量 1.90m ³ /s
北西部処理区	処理施設	処理場 吐口	曾我屋字乙井	0.251 m ³ /s 0.244 m ³ /s	一級河川 根尾川 (伊自良川)		低水流量 5.50m ³ /s
中部排水区	分流式 雨水渠	No1	〃 桜木町2丁目	22.570 m ³ /s	一級河川 長良川	I. W. L +17.88m	頻度：1回/年 方法：動作確認
	分流式 雨水渠	No2	〃 渋谷町	8.400 m ³ /s	一級河川 新荒田川	+9.31m	頻度：1回/年 方法：動作確認
	分流式 雨水渠	No3	〃 祈年町3丁目	6.400 m ³ /s	一級河川 新荒田川	+9.39m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式 雨水渠	No4	〃 入舟町2丁目	3.200 m ³ /s	一級河川 新荒田川	+9.67m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式 雨水渠	No5	〃 橋本町2丁目	2.300 m ³ /s	準用河川 清水川	+9.68m	頻度：1回/年 方法：目視確認
北部排水区	分流式 雨水渠	No6	〃 下土居字北門	16.300 m ³ /s	一級河川 天神川	+14.10m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式 雨水渠	No7	〃 上土居1丁目	2.120 m ³ /s	一級河川 天神川	+14.90m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式 雨水渠	No8	〃 上土居1丁目	1.560 m ³ /s	一級河川 天神川	+15.30m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式 雨水渠	No9	〃 福光東2丁目	2.000 m ³ /s	一級河川 天神川	+16.26m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式 雨水渠	No10	〃 福光東2丁目	2.600 m ³ /s	一級河川 天神川	+16.62m	頻度：1回/年 方法：目視確認

処理区及び排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量	放流先の名称	放流先の水位	摘要
北部排水区	分流式雨水渠	No11	岐阜市 長良西野前	10.800 m ³ /s	一級河川 天神川	+17.30m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No18	〃 則武西2丁目	6.200 m ³ /s	一級河川 則武川	+12.22m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No19	〃 則武西2丁目	14.520 m ³ /s	一級河川 則武川	+12.28m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No40	〃 正木字天白	6.010 m ³ /s	一級河川 鷺山川	+11.90m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	ポンプ場 吐口	〃 長良字東野	6.150 m ³ /s	一級河川 長良川		頻度：1回/年 方法：動作確認
南部排水区	分流式雨水渠	No12	〃 宇佐南4丁目	29.660 m ³ /s	一級河川 荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No13	〃 六条片田2丁目	1.578 m ³ /s	一級河川 荒田川	+7.37m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No14	〃 六条片田2丁目	1.348 m ³ /s	一級河川 荒田川	+7.40m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No15	〃 茜部大野2丁目	21.550 m ³ /s	一級河川 荒田川	+8.03m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No16	〃 茜部大野2丁目	3.400 m ³ /s	一級河川 荒田川	+7.54m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No17	〃 茜部大野1丁目	2.360 m ³ /s	一級河川 荒田川	+7.60m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No20	〃 東鶉1丁目	40.110 m ³ /s	一級河川 荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No21	〃 茜部中島1丁目	5.580 m ³ /s	一級河川 荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No22	〃 西鶉2丁目	9.020 m ³ /s	一級河川 大江川	+6.06m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No23	〃 西鶉1丁目	3.160 m ³ /s	一級河川 大江川	+6.10m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No24	〃 西鶉1丁目	3.000 m ³ /s	一級河川 大江川	+6.15m	頻度：1回/年 方法：目視確認

処理区及び排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量	放流先の名称	放流先の水位	摘要
南部排水区	分流式雨水渠	No25	岐阜市西鶉1丁目	2.660 m ³ /s	一級河川大江川	+6.19m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No26	西鶉1丁目	5.320 m ³ /s	一級河川大江川	+6.21m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No27	西荘7丁目	10.380 m ³ /s	一級河川論田川	+9.05m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No28	下奈良5丁目	8.770 m ³ /s	一級河川荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No29	須賀7丁目	3.130 m ³ /s	一級河川荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No30	須賀7丁目	3.160 m ³ /s	一級河川荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No31	須賀6丁目	7.840 m ³ /s	一級河川荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No32	須賀5丁目	11.710 m ³ /s	一級河川荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No33	江添3丁目	7.440 m ³ /s	一級河川荒田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No34	今嶺6丁目	6.740 m ³ /s	一級河川論田川	+8.00m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No35	今嶺6丁目	7.200 m ³ /s	一級河川論田川	+8.02m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No36	今嶺6丁目	2.500 m ³ /s	一級河川論田川	+8.13m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No37	藪田7丁目	7.560 m ³ /s	一級河川論田川	+8.133m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No38	今嶺4丁目	3.850 m ³ /s	一級河川論田川	+8.27m	頻度：1回/年 方法：目視確認
	分流式雨水渠	No39	今嶺4丁目	4.540 m ³ /s	一級河川論田川	+8.462m	頻度：1回/年 方法：目視確認

第4表-1

管渠調書				
処理区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	点検箇所 の数	摘要
中部処理区	○300～○1600	13,710	3箇所	方法：マンホール内からの管内目視若しくは管口テレビカメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上
北部処理区	○250～○1500	29,210	29箇所	〃
南部処理区	○300～○2100	34,740	13箇所	〃
北西部処理区	○200～○1500	39,030	25箇所	〃
小計		116,690	70箇所	

第4表-2

管渠調書 雨水			
排水区の名称	内のり寸法 (単位ミリメートル)	延長 (単位メートル)	摘要
中部排水区	◻ 5,900×2,250 ~ ◻ 1,250 ◻ 1,200×1,000	15,180	
北部排水区	◻ 8,520~8,440 ◻ 5,800×2,720~2,640 ~ ◻ 800×650	11,580	
南部排水区	◻ 9,400 ◻ 6,400×3,970~3,910 ~ ◻ 800×790	41,970	
小 計		68,730	

第5表-1

処理施設調書								
終末処理場等の名称	位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画放流水質	処理方法	処理能力		計画処理人口 (人)	摘要
					晴天日 (単位 立方メートル)	雨天日 (単位 立方メートル)		
中部下水処理場	岐阜市 祈年町 4丁目	2.20	BOD 15mg/ℓ T-N 20mg/ℓ 15mg/ℓ T-P 1.5mg/ℓ	凝集剤併用型 ステップ流入 式多段硝化脱 窒法 + 急速ろ過法	33,100 31,500	—	40,580 38,540	計画下水水量 日最大 33,002m ³ /d 31,442m ³ /d
北部下水処理場	岐阜市 西中島 6丁目	3.91	BOD 15mg/ℓ T-N 20mg/ℓ T-P 1.5mg/ℓ	嫌気好気 活性汚泥法	44,100 43,300	—	82,940 81,360	計画下水水量 日最大 44,066m ³ /d 43,228m ³ /d
南部下水処理場	岐阜市 南鶉 6丁目	3.92	BOD 15mg/ℓ T-N 20mg/ℓ T-P 1.5mg/ℓ	嫌気好気 活性汚泥法	71,700 72,100	—	103,630 104,580	計画下水水量 日最大 71,647m ³ /d 72,048m ³ /d
北西部下水処理場	岐阜市 曾我屋 8丁目	7.66	BOD 15mg/ℓ T-N 15mg/ℓ T-P 1.5mg/ℓ	凝集剤併用型 循環式硝化脱 窒法 + 急速ろ過法	32,000	—	41,870 40,800	計画下水水量 日最大 21,684m ³ /d 21,104m ³ /d ※北部受入時 32,000 m ³ /d

第5表—2

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
中部 下水処理場	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	満管流量 1.194m ³ /sec	
	主ポンプ	3台	汚水ポンプ	18m ³ /min 3台	3/3
	最初沈殿池	3池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 70m ³ /m ² /日 全容量 2,572m ³ 3池	3/3
	反応槽	6池	鉄筋コンクリート造り	反応時間 10.1hr 反応時間 10.0hr 全容量 18,204m ³ 6池	6/6
	送風機	3台		風量 60m ³ /min 3台	3/3
	最終沈殿池	6池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 25m ³ /m ² /日 全容量 5,705m ³ 6池	6/6
	塩素混和池	1池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 15min	1/1
	放流渠	1式	鉄筋コンクリート造り		
	汚泥濃縮タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 75 kg/m ² /日	1/1
	急速ろ過池	3池	鉄筋コンクリート造り	ろ過速度 300m/d	3/3
	機械濃縮	2台		20m ³ /hr	2/2
	汚泥脱水機	2台		550kgDS/hr	2/2
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	汚泥濃縮タンク、機械濃縮機室 脱水機室、汚泥搬出室、電気室、中央監視室、事務室、水質試験室等	1/1
	ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	ポンプ室、スクリーン室	1/1
受変電設備	1式				
自家発電設備	1台		発電容量 875KVA		
北部 下水処理場	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	満管流量 1.760m ³ /sec	
	沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 1,800m ³ /m ² /日	2/2
	主ポンプ	3台	汚水ポンプ	22m ³ /min×3台	3/3
	最初沈殿池	8池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 50m ³ /m ² /日 全容量 1,478m ³ 6池 水面積負荷 50m ³ /m ² /日 全容量 1,636m ³ 2池	8/8
	反応槽	4池	鉄筋コンクリート造り	反応時間 5.5hr 全容量 5,996m ³ 2池 全容量 4,844m ³ 2池	4/7

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
北部 下水処理場	送風機	3台		風量 110m ³ /min 3台	3/3
	最終沈殿池	6池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 25m ³ /m ² /日 全容量 3,808m ³ 4池 水面積負荷 25m ³ /m ² /日 全容量 2,614m ³ 2池	6/9
	塩素混和池	1池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 15min	1/1
	放流渠	1式	鉄筋コンクリート造り		
	放流ポンプ	3台		22m ³ /min×3台	3/3
	汚泥濃縮槽	2池	鉄筋コンクリート造り 重力式	固形物負荷 60 kg/m ² /日 容量 475m ³ 1池 容量 339m ³ 1池	2/2
	汚泥貯留槽	1池	鉄筋コンクリート造り	容量 135m ³ 1池	1/1
	汚泥脱水機	4台		450kgDS/hr	4/5
	焼却炉	2基	流動焼却炉	50t/d×2基	2/2
	りん回収設備	2基		5t/d×1基 2t/d×1基	2/2
	連絡管	1式	ダクタイル鋳鉄管製	管径 ○400mm	1/1
	送水ポンプ	1式		6.0m ³ /min×3台	3/3
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	管理室、事務室、電気室、ポンプ室	1/1
	機械棟	4棟	鉄骨及び鉄筋コンクリート造り	沈砂室、脱臭機室、送風機室、滅菌室	4/4
	汚泥処理棟	3棟	鉄筋コンクリート造り	脱水機室、電気室、管理室、スクリーンかす処理室、りん回収室	3/3
	水処理覆蓋	4池	鉄筋コンクリート造り	最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池	4/7
	受変電設備	1式		受電容量 6,600V	
	自家発電設備	1台		発電容量 875KVA	1/1

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
南部 下水処理場	流入管渠	1 式	鉄筋コンクリート造り	満管流量 3.035m ³ /sec	
	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 1,800m ³ /m ² /日	2/2
	主ポンプ	3 台	汚水ポンプ	39m ³ /min×3 台	3/3
	最初沈殿池	4 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 50m ³ /m ² /日 全容量 6,292m ³ 4 池	4/4
	反応槽	8 池	鉄筋コンクリート造り	反応時間 5.4hr 反応時間 5.7hr 全容量 17,146m ³ 8 池	8/11
	送風機	3 台		風量 150m ³ /min 3 台	3/3
	最終沈殿池	4 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 25m ³ /m ² /日 全容量 10,902m ³ 4 池	4/7
	塩素混和池	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 15min	1/1
	放流渠	1 式	鉄筋コンクリート造り		
	放流ポンプ	3 台		39m ³ /min×3 台	3/3
	汚泥濃縮槽	2 池	鉄筋コンクリート造り 重力式 浮上式	固形物負荷 60 kg/m ² /日 容量 474m ³ 1 池 固形物負荷 100 kg/m ² /日 容量 474m ³ 1 池	2/2
	汚泥貯留槽	2 池	鉄筋コンクリート造り	全容量 300m ³ 2 池	2/2
	汚泥脱水機	5 台		450kgDS/hr	5/5
	焼却炉	2 基	流動焼却炉	50t/d×1 基 30t/d×1 基	2/2
	機械管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	管理室、電気室、事務室、発電機室、送風機室、滅菌室等	1/1
	ポンプ棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	沈砂池、ポンプ室、スクリーン	1/1
汚泥処理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	脱水機室、管理室、電気室、脱臭機室	1/1	
電気棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	電気室	1/1	

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
南部 下水処理場	水処理覆蓋	8 池	鉄筋コンクリート造り	最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池	8/11
	受変電設備	1 式		受電容量 6,600V	
	自家発電設備	1 台		発電容量 1,500KVA	
北西部 下水処理場	流入管渠	1 式	鉄筋コンクリート造り	満管流量 1.580m ³ /sec(高段) 満管流量 0.262m ³ /sec(低段)	
	主ポンプ	3 台	汚水ポンプ	1.9m ³ /min×3 台	3/3
	最初沈殿池	8 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 70m ³ /m ² /d 全容量 1,848m ³ 8 池	8/8
	反応槽	8 池	鉄筋コンクリート造り	反応時間 8.0hr 反応時間 10.7hr 全容量 13,950m ³ 8 池	8/8
	送風機	4 台		風量:60m ³ /min×4 台	4/4
	最終沈殿池	8 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 15m ³ /m ² /d 全容量 7,644m ³ 8 池	8/8
	急速ろ過池	3 池	鉄筋コンクリート造り	ろ過速度 300m/d	3/3
	塩素混和池	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 15min	1/1
	放流渠	1 式	鉄筋コンクリート造り		
	放流ポンプ	4 台		8.8m ³ /min×2 台 13.7m ³ /min×2 台	4/4
	汚泥貯留槽	2 池	鉄筋コンクリート造り	全容量 400m ³ 2 池	2/2
	汚泥ポンプ	2 台		2.0m ³ /min×2 台	2/2
	汚泥圧送管	1 式	ダクタイル 鋳鉄管製	管径 ○200mm	1/1
	機械管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	スクリーンポンプ室、脱臭機室、電気室、プロワ室、換気ファン室、発電機室、会議室、監視室、汚泥貯留槽	1/1
	放流ポンプ棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	電気室、ポンプ室、換気ファン室、急速砂ろ過池	1/1
	受変電設備	1 式		受電容量 6,600V	
自家発電設備	2 台		発電容量 625KVA	2/2	

第6表

ポンプ施設調書						
ポンプ施設 の名称	処理区及び 排水区の 名称	ポンプ施設 の位置	敷地面積 (単位:ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位:立方メートル)		摘要
				晴天時 最大	雨天時 最大	
須賀 ポンプ場	南部処理区	岐阜市 須賀1丁目	0.44	16.3 16.4	—	汚水中継
則武 ポンプ場	北部処理区	岐阜市 則武字本畠	0.09	2.3 2.2	—	汚水中継
雄総排水 ポンプ場	北部排水区	岐阜市 雄総桜町1丁目	0.40	—	369	雨水排水
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設 の名称	主要な施設 の名称	数	構造	能力	摘要	
須賀 ポンプ場	流入渠		鉄筋コンクリート 1,100mm			
	主ポンプ	3台	スクリーポンプ	7.0 m ³ /min/台×1台 9.0 m ³ /min/台×2台	3/3	
	ポンプ棟	1式	鉄筋コンクリート造	モーター室、電気室、 発電気室、脱臭気室、 換気室、監視室等		
	受変電設備	1式		受電容量 6,600V		
	自家発電設備	1台		発電容量 100KVA		
	流出渠	1式	鉄筋コンクリート 1,100mm			
則武 ポンプ場	流入渠		鉄筋コンクリート 700mm			
	主ポンプ	2台	スクリーポンプ	3.0m ³ /min/台×2台	2/2	
	ポンプ棟	1式	鉄筋コンクリート造	モーター室、電気室、 発電機室、脱臭気室、 換気室		

ポンプ施設 の名称	主要な施設の 名 称	数	構 造	能 力	摘要
則武 ポンプ場	受変電設備	1 式		受電容量 220V	
	自家発電設備	1 台		発電容量 45KVA	
	流出渠	1 式	鉄筋コンクリート 700 mm		
雄総排水 ポンプ場	流入渠		鉄筋コンクリート 3,500 mm×2,450mm		
	主ポンプ	2 台	立軸斜流ポンプ	184.5 m ³ /min/台×2 台	2/4
	自家発電設備	1 台		発電容量 125KVA	
	ポンプ棟	1 式	鉄筋コンクリー造	ポンプ室、電気室、 発電機室、換気室、 監視室等	
	放流渠	1 式	鉄筋コンクリート 3,500mm×2,500mm		

第7表

貯留施設調書				
排水区の名称	主要な貯留施設の名称	主要な貯留施設の位置	貯留能力 (単位立方メートル)	摘要
中部排水区	梶川町貯留槽	岐阜市 松ヶ枝町 梶川町 本町1丁目 今町4丁目 本町2丁目	6,200 (計画容量)	今泉排水路の 流下能力を補 完する。
	伊奈波貯留槽	岐阜市 伊奈波通1丁目	8,700 (計画容量)	今泉排水路の 流下能力を補 完する。

第7章 その他

7-1. 施設の設置に関する方針【様式1】

主要な施策	整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考
	指標等	現在 (令和2年度末)	中期目標 (令和6年度末)	長期目標			
汚水処理	下水道処理人口普及率	96%	96%	99%	市街化区域の整備は概成したため、下水道整備の方が効率的とされた市街化調整区域のうち、要望の高い地区を優先的に整備する。	北西部処理区整備事業(共和町)	
浸水対策	都市浸水対策達成率 56mm/hr	45%	60%	71%	整備すべき地域のうち、浸水実績のある地区を優先的に整備する。	千石今泉排水路(中部排水区)	
耐水化	水害時における機能確保率	(処理場)			-	-	令和3年度に耐水化計画を策定中であり、策定後に記載する。
		-	-	-			
		(汚水ポンプ場)					
		-	-	-			
耐震化	災害時における機能確保率	(重要な幹線等)			-	-	令和4年度に総合地震対策計画を改定する予定であり、改定後に記載する。基礎を除く。
		34%	-	100%			
		(処理場;揚水機能を有した設備能力の確保率)					
		32%	-	100%			
		(処理場;消毒機能を有した設備能力の確保率)					
		58%	-	100%			
		(処理場;沈殿機能を有した設備能力の確保率)					
		43%	-	100%			
		(汚水ポンプ場;設備能力の確保率)					
		100%	-	100%			
高度処理	高度処理実施率	18%	18%	82%	木曾川及び長良川流域別下水道整備総合計画に基づき窒素・リン除去の高度処理を老朽化施設の改築に合わせ導入する。		
		計画放流水質					
	(北部、南部下水処理場)						
	BOD 15mg/l TN 20mg/l TP 1.5mg/l	BOD 15mg/l TN 20mg/l TP 1.5mg/l	BOD 15mg/l TN 10.1mg/l TP 1.5mg/l				
	(中部、北西部下水処理場)						
	BOD 15mg/l TN 15mg/l TP 1.5mg/l	BOD 15mg/l TN 15mg/l TP 1.5mg/l	BOD 15mg/l TN 10.1mg/l TP 1.5mg/l				
汚泥の再生利用	燃料又は肥料等に利用された割合	100%	100%	100%	北部下水処理場において、各処理場で発生した汚泥を焼却・減量した灰から、りん酸肥料と土壤環境基準を満たす資材を製造しており、今後も汚泥のリサイクルを継続する。	下水汚泥焼却灰からのりん回収事業	

7-2. 施設の機能の維持に関する方針【様式2】

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	施設重要度の高い「線的施設」は、1回/5年の点検と1回/10年の調査を実施する。 「面的施設」は、1回/10年の点検と1回/20年の調査を実施する。 なお、調査は、リスクが高い優先度ⅠⅡの管路を対象とする。
雨水・汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	概ね7年を目途に点検・調査を実施し、修繕・改築の必要性を検討する。
水処理施設(送風機本体)	概ね10年を目途に点検・調査を実施し、修繕・改築の必要性を検討する。
汚泥処理施設(汚泥脱水機)	概ね7年を目途に点検・調査を実施し、修繕・改築の必要性を検討する。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	健全度2以下のものを改築の対象にする。
雨水・汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度2以下のものを改築の対象にする。
水処理施設(送風機本体)	
汚泥処理施設(汚泥脱水機)	

iii) 改築事業の概要(令和4年度～令和6年度)

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	概ね10.5km
雨水・汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	—
水処理施設(送風機本体)	—
汚泥処理施設(汚泥脱水機)	南部下水処理場汚泥脱水設備

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し(年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算年次	試算の前提条件
年当たり概ね32億円 ※流域関連公共分を含む	概ね100年後	健全度・緊急度等や耐用年数を考慮した改築

7-3. 施設の総合改築の計画

中部処理区において、昭和9年の供用開始から70年以上経過している管渠と下水処理場について改築更新事業を進め、中部下水処理場については、高度処理化を念頭に段階的な全面改築を行い、管渠については、岐阜市下水道総合地震対策計画におけるバイパス管計画により事業を進めている。

また、北部処理区では、北部下水処理場における震災時の減災対策及び今後の効率的な改築を行う為に、北西下水処理場との間において、汚水のネットワーク施設（連絡管（汚水圧送管）、送水ポンプ）の計画を進めている。

7-4. 汚泥の最終処分計画

汚泥は、濃縮、脱水、焼却で減量化している。焼却した灰は、平成22年から、希少資源のりんが灰に高濃度で含まれる点に着目すると同時に環境負荷の低減を目指して、りん回収と共に残る灰を清浄化して、場外にて緑農地や建設資材として有効利用を図っている。

6-3. 下水道事業に関する財政計画書

(1) 経費の部

(千円)

年次	イ 経費の部										合 計
	建設改良費					計	うち用地費	起債元利償還費	維持管理費	そ の 他	
	管 渠	ポンプ場	処 理 場	計	うち用地費						
令和2年度 まで	77,090,000	3,270,000	59,375,000	139,735,000	6,437,000	100,437,000	136,213,000	0	376,385,000	0	376,385,000
令和3年度	77,932,000	3,250,000	59,520,000	140,702,000	6,437,000	100,535,000	136,076,000	0	377,313,000	0	377,313,000
令和4年度	1,008,000	36,000	3,015,000	4,059,000	0	3,054,000	5,341,000	0	12,454,000	0	12,454,000
	870,000	0	1,139,000	2,009,000	0	3,232,000	5,199,000	0	10,440,000	0	10,440,000
令和5年度	1,297,000	0	1,883,000	3,180,000	0	3,482,000	5,355,000	0	12,017,000	0	12,017,000
令和6年度	1,197,000	8,000	1,510,000	2,715,000	0	2,532,000	5,516,000	0	10,763,000	0	10,763,000
R3~R6 小 計	1,241,000	0	2,367,000	3,608,000	0	2,500,000	5,681,000	0	11,789,000	0	11,789,000
	1,008,000	36,000	3,015,000	4,059,000	0	3,054,000	5,341,000	0	12,454,000	0	12,454,000
	4,605,000	8,000	6,899,000	11,512,000	0	11,746,000	21,751,000	0	45,009,000	0	45,009,000
合 計	78,098,000	3,306,000	62,390,000	143,794,000	6,437,000	103,491,000	141,554,000	0	388,839,000	0	388,839,000
	82,537,000	3,258,000	66,419,000	152,214,000	6,437,000	112,281,000	157,827,000	0	422,322,000	0	422,322,000

記載要領

1. 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

上段：変更前
下段：変更後

(2) 財源の部

(千円)

年次	口 財源の部										合計
	建設改良費					維持管理費及び起債元利償還費					
	国費	起債	債	他会計	受益者	その他	計	下水道	他会計	その他	計
				繰入金	負担金			使用料	繰入金		
令和2年度	47,306,000	79,769,000		8,955,000	2,880,000	825,000	139,735,000	151,173,000	85,477,000	0	236,650,000
まで	47,945,000	80,233,000		9,143,000	2,856,000	825,000	140,702,000	151,403,000	85,208,000	0	236,611,000
令和3年度	1,850,000	1,994,000		111,000	104,000	0	4,059,000	4,428,000	3,967,000	0	8,395,000
	683,000	1,156,000		170,000	0	0	2,009,000	4,660,000	3,771,000	0	8,431,000
令和4年度											
	1,169,000	1,647,000		340,000	24,000	0	3,180,000	4,707,000	4,130,000	0	8,837,000
令和5年度											
	1,030,000	1,476,000		160,000	49,000	0	2,715,000	4,754,000	3,294,000	0	8,048,000
令和6年度											
	1,593,000	1,790,000		152,000	73,000	0	3,608,000	4,802,000	3,379,000	0	8,181,000
R3~R6	1,850,000	1,994,000		111,000	104,000	0	4,059,000	4,428,000	3,967,000	0	8,395,000
小計	4,475,000	6,069,000		822,000	146,000	0	11,512,000	18,923,000	14,574,000	0	33,497,000
合計	49,156,000	81,763,000		9,066,000	2,984,000	825,000	143,794,000	155,601,000	89,444,000	0	245,045,000
	52,120,000	86,302,000		9,965,000	3,002,000	825,000	152,214,000	170,326,000	99,782,000	0	270,108,000
接続率:88.6%(令和2年度末:初年度)→90.6%(令和6年度:最終年度)											
講じる対策	<ul style="list-style-type: none"> 水便所改造等工事について、助成金を交付する。 工事資金の融資あっせん及び利子補給を行う。 未水洗家屋を定期的に戸別訪問し、下水道への切り替えをするよう広報活動を行う。 										
下水道使用料	有収率:72.7%(令和2年度末:初年度)→73.9%(令和6年度:最終年度)										
料※関連事項	講じる対策										
その他の講じる対策											

記載要領

- 1 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は建設費負担金を含んで記載する。
- 2 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、積立金取り崩し額等を記載する。なお、流域下水道は管理運営費負担金を含んで記載する。
- 3 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保険・人口問題研究所等による人口・世帯数の見直し、企業立地の見直し等を踏まえた上で算定すること。
- 4 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン（平成26年6月、国土交通省、(公社)日本下水道協会）」等も必要に応じて参照すること。
- 5 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。

上段：変更前
下段：変更後